

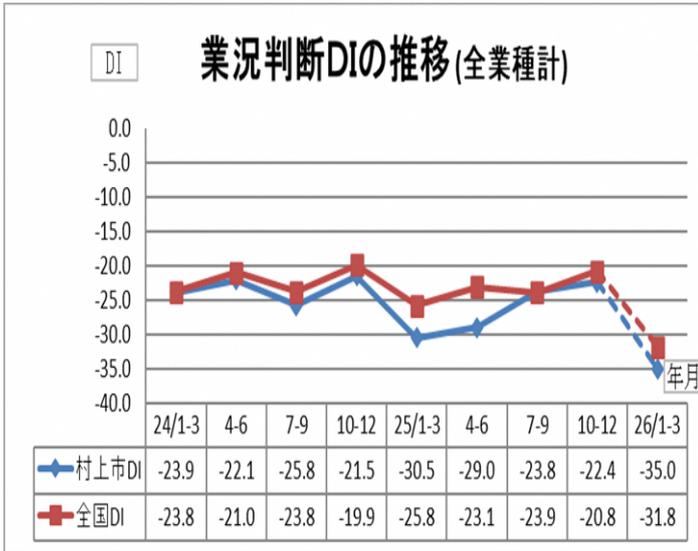


村上市 景況調査報告

〈令和7年10-12月期の実績・令和8年1-3月期の見通し〉

『物価高騰・人手不足により、持ち直しの動きに足踏みがみられる』

■村上市の業況(全業種計)



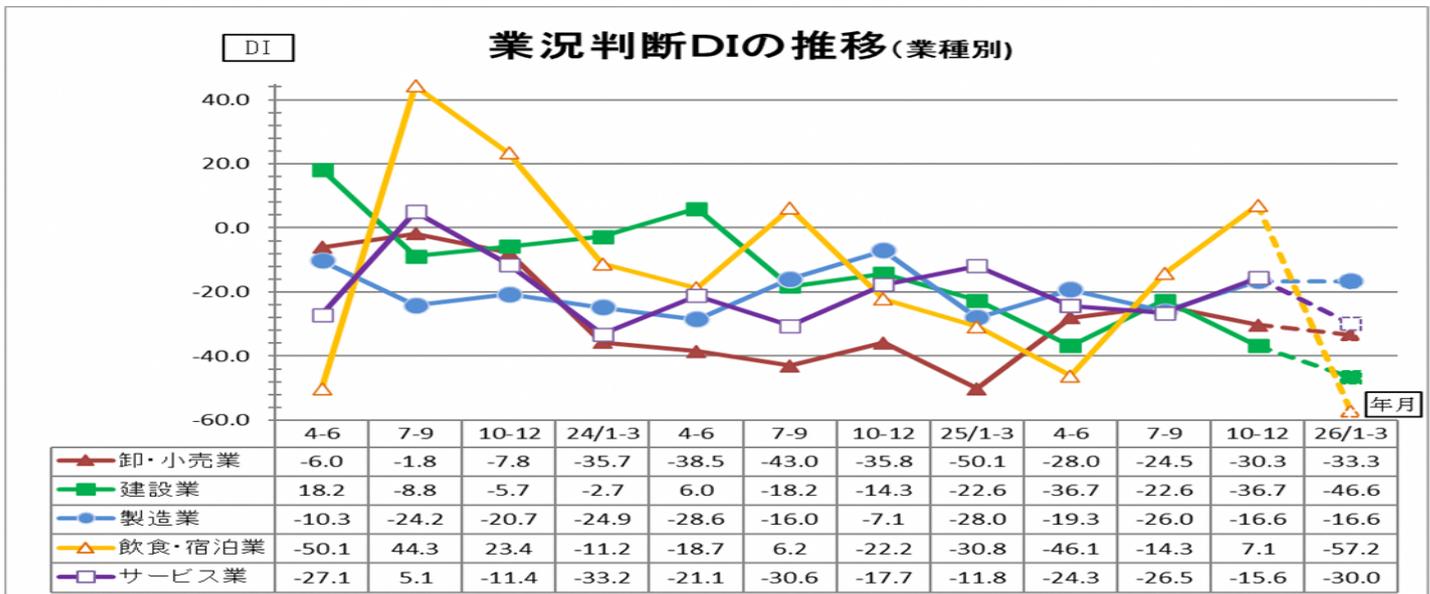
今期(10-12月期)の業況判断DI(全業種計)は、前期(7-9月期)と比べ1.4ポイント上昇し▲22.4となった。前期における今期予測(▲27.3)より4.9ポイント上昇し、前年同月比では0.9ポイント低下した。全国DIは3.1ポイント上昇し▲20.8となった。

来期(1-3月期)については、12.6ポイント低下し▲35.0となる見通し。全国DIは11.0ポイント低下し▲31.8となる見通し。

業況判断DIの全業種計グラフでは、市DI・全国DIともに実績では上昇し、来期の見通しでは大きく低下するという同じ形を示している。

業種別で見ると、特に飲食業の見通しが▲57.2と大きく低下している。引き続き物価高騰や人手不足が深刻な問題となっている。

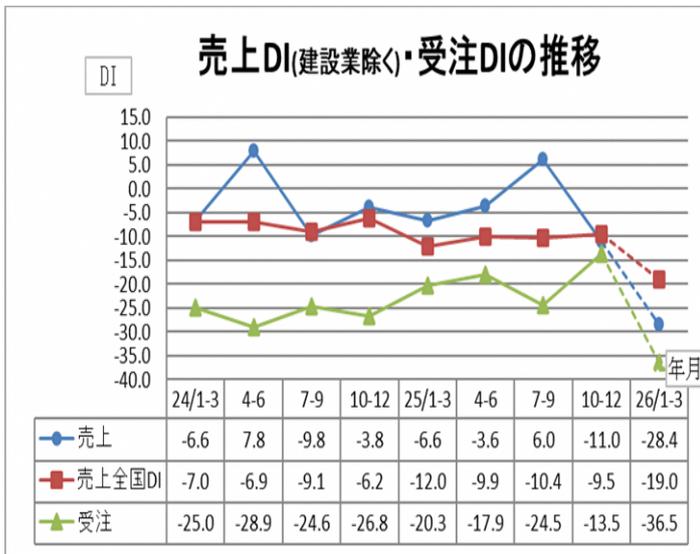
見通しとしても、物価高・人手不足は懸念があり、消費マインドが冷え込むとの見方が多い。



■業種別の動向

(参考) 回答コメントの中から一部のコメントを紹介

卸・小売業	建設業	製造業	飲食・宿泊業	サービス業
<p>【実績】</p> <p>◆(酒類小売)飲料メーカーへのサイバー攻撃に伴い商品不足や遅延。◆(家電小売)商品売上は減少だが電気工事が増加。◆(洋品店)顧客の高齢化。◆(自動車小売)値引きを抑え利益を意識した販売。</p> <p>【見通し】</p> <p>◆(卸小売全体)物価高により利益減少とのコメント多数。経費の見直しを行っているが限界とのコメントもある。</p>	<p>【実績】</p> <p>◆(建築板金)働き方改革の関係で生産能力の低下。◆(総合建設業)以前より受注減少とのコメントが多くなっている。</p> <p>【見通し】</p> <p>◆(土木建築)受注量は少ないが除雪があるためまだ良いほう。◆(建設全体)引き続き人手不足というコメントが多い。</p>	<p>【実績】</p> <p>◆(建具製造)従業員の高齢化で今後が不安。◆(部品加工)中国の輸出規制により原材料を前倒しで仕入れ資金繰りが厳しい。◆(印刷)新規の取引先を開拓した。</p> <p>【見通し】</p> <p>◆(半導体)受注増への対応で作業改善も必要だが遅れている。</p>	<p>【実績】</p> <p>◆(飲食)10~11月は好調だったが12月の忘年会の動きは鈍かった。◆(宿泊)ビジネス利用は増加している。</p> <p>【見通し】</p> <p>◆(飲食)物価高で消費が冷え込む上、天候に左右される。◆(宿泊)長期団体予約があり好調とのコメントもある。</p>	<p>【実績】</p> <p>◆(車輛整備)販売よりも整備受注が増加傾向。◆(HP制作)営業努力により新規顧客を開拓。◆(機械修理)節約ムードで修理も控えめ。◆(引っ越し)人手不足・求人難で売上が上がらない。</p> <p>【見通し】</p> <p>◆(介護)人手不足。(解体)建設業稼働低下に伴い解体案件減少。◆(リサイクル)資源相場が好調で収益向上の好機。</p>



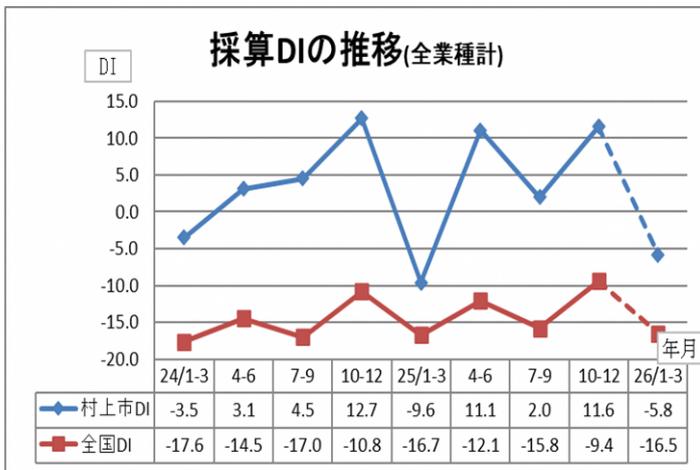
今期の売上DI(建設業除く)は、前期と比べ、17.0%低下し▲11.0となった。前期における今期予測(▲16.8)より5.8%上昇し、前年同月比では7.2%低下した。全国DIは0.9%上昇し▲9.5となった。

来期については、17.4%低下し▲28.4となる見通し。全国DIは9.5%低下し▲19.0となる見通し。

今期の受注DI(建設・製造業)は、前期と比べ、11.0%上昇し▲13.5となった。前期における今期予測(▲22.8)より9.3%上昇し、前年同月比では13.3%上昇した。

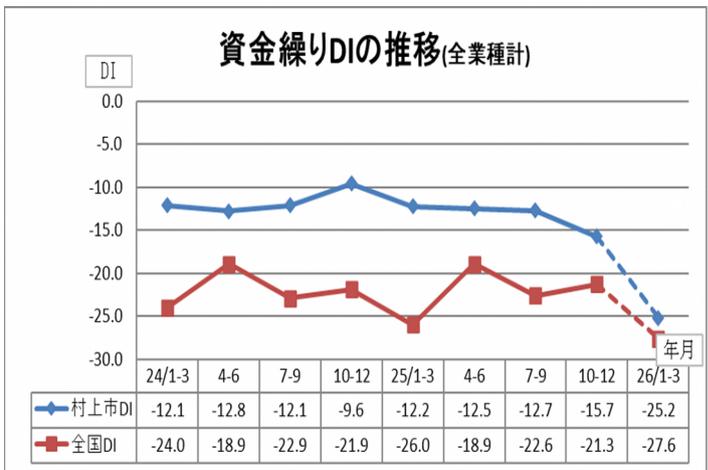
来期については、23.0%低下し▲36.5となる見通し。

【受注DIの内訳】	前期	今期	来期
・建設業	-45.1	-20.7	-48.3
・製造業	0.0	-4.3	-21.8



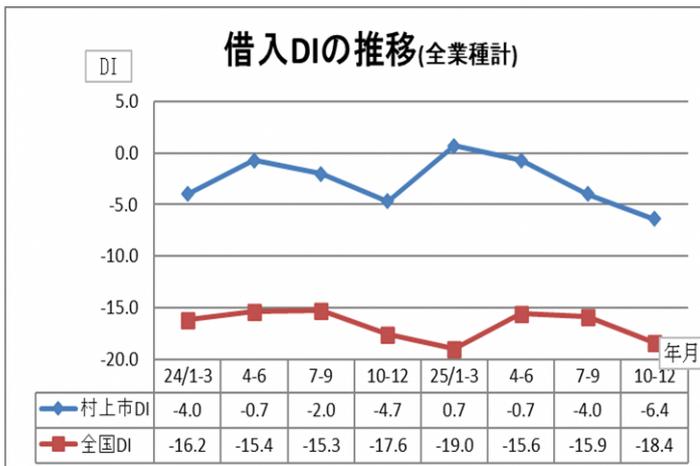
今期の採算DI(全業種計)は、前期と比べ、9.6%上昇し11.6となった。前期における今期予測(0.0)より11.6%上昇し、前年同月比では1.1%低下した。全国DIは6.4%上昇し▲9.4となった。

来期については、17.4%低下し▲5.8となる見通し。全国DIは7.1%低下し▲16.5となる見通し。



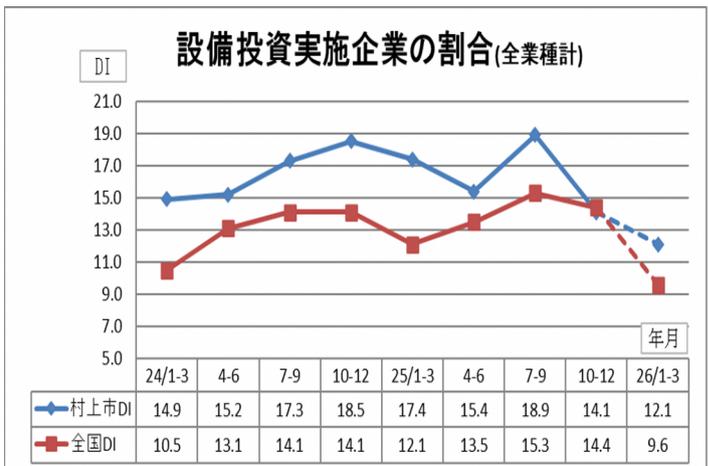
今期の資金繰りDI(全業種計)は、前期と比べ、3.0%低下し▲15.7となった。前期における今期予測(▲22.5)より6.8%上昇し、前年同月比では6.1%低下した。全国DIは1.3%上昇し▲21.3となった。

来期については、9.5%低下し▲25.2となる見通し。全国DIは6.3%低下し▲27.6となる見通し。



今期の借入DI(全業種計)は、前期と比べ、2.4%低下し▲6.4となった。全国DIは2.5%低下し▲18.4となった。

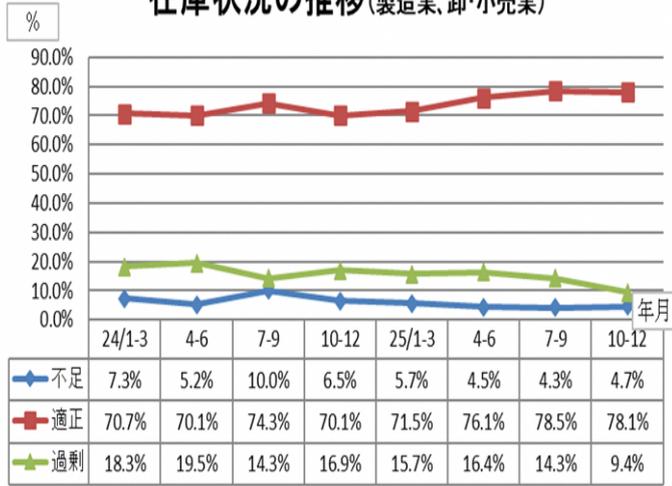
【借入DIの内訳】	前期	今期
・容易になった	0.7%	0.7%
・変わらない	38.5%	31.4%
・難しくなった	4.7%	7.1%



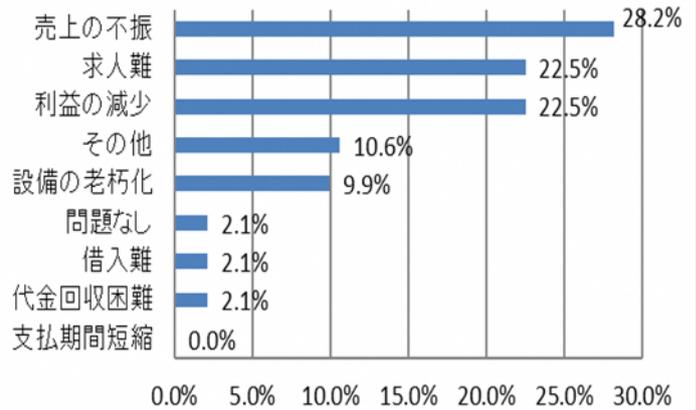
今期の設備投資実施企業の割合(全業種計)は、前期と比べ、4.8%低下し14.1となった。前期における今期予測(12.2)より1.9%上昇し、前年同月比では4.4%低下した。全国DIは0.9%低下し14.4となった。

来期については、2.0%低下し12.1となる見通し。全国DIは4.8%低下し9.6となる見通し。

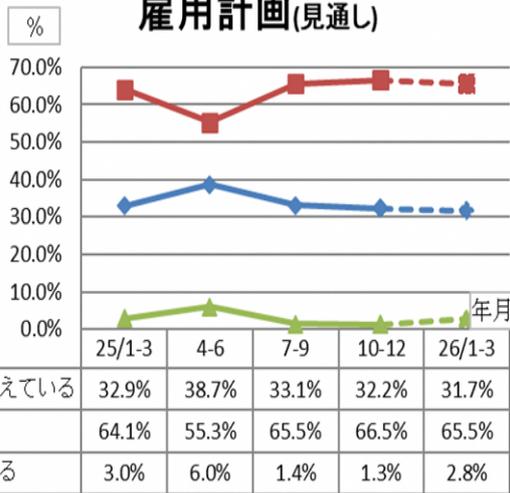
在庫状況の推移(製造業、卸・小売業)



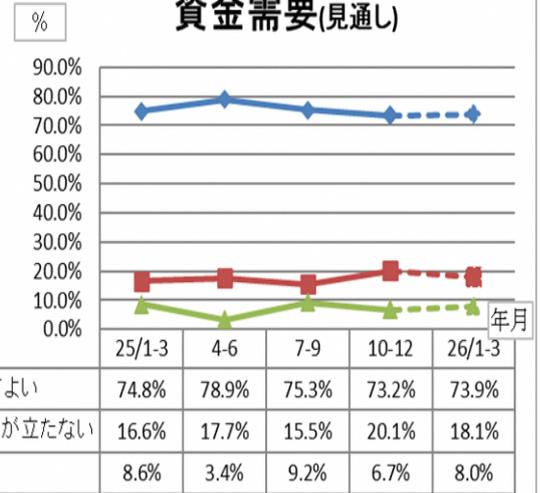
経営上の問題点



雇用計画(見通し)



資金需要(見通し)



■ 地域別最低賃金の改定について

地域別最低賃金が改定され、令和7年10月2日より新潟県の最低賃金が1,050円（改定前：985円）となりました。

(イ). この改定に伴う常用雇用者(正社員等)の賃上げ状況について教えてください。(1つ選択)

① 2025年中に実施した	82件	58.6%
② 2026年中に実施予定	7件	5.0%
③ 検討中だが時期は未定	10件	7.1%
④ 実施する予定はない	9件	6.4%
⑤ 賃上げすべき従業員はいない	32件	22.9%
	140件	100.0%

(ロ). 貴社の月例賃金の「賃上げ率(平均)」をお答えください。(小数第一位まで)

※賃上げ率(%) = (改定後の月例平均賃金 - 改定前の月例平均賃金) / 改定前の月例平均賃金 × 100

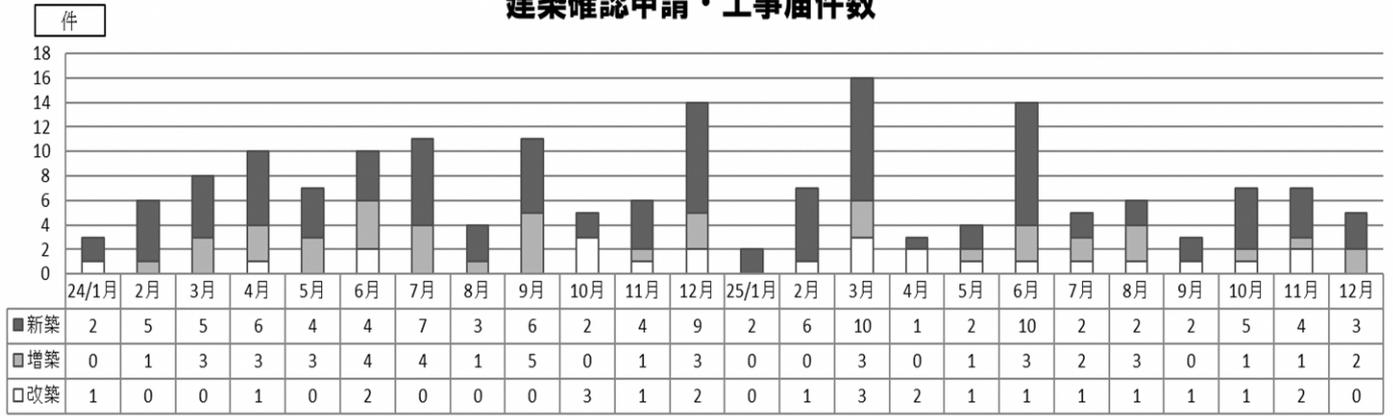
※計算が難しい場合は、人事担当者様・経営者様の実感値や見込み値でご回答ください。

回答件数：86件 平均：4.21% (注)賃上げ率(平均)は、従業員数による加重平均で算出。

(ハ). 賃上げ原資を確保するため行う取組(予定含む)を教えてください。(複数選択)

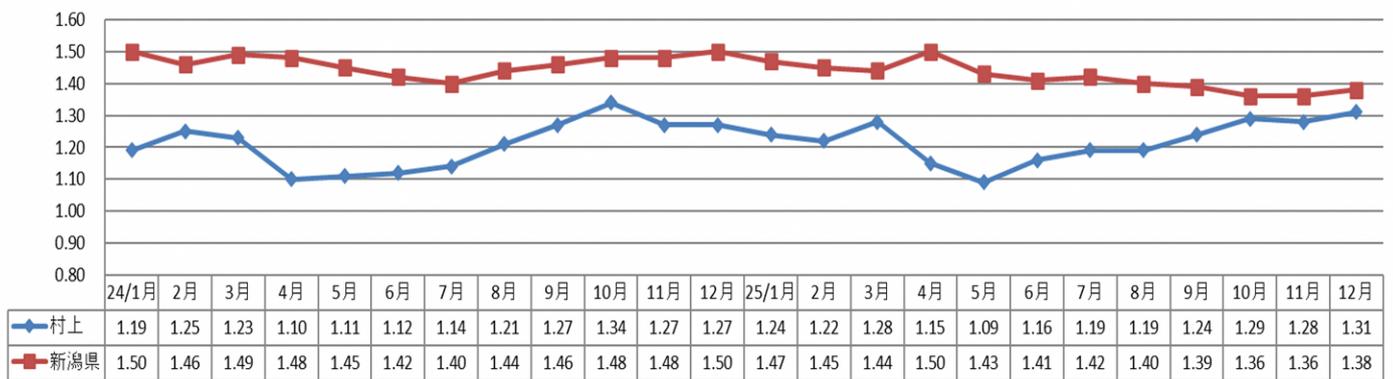
① 販路拡大、顧客獲得や事業再構築による売上・利益の増加	49件	27.5%
② 価格転嫁の実施(取引先との価格交渉による適正な利益確保)	52件	29.2%
③ 業務効率化・生産性向上のためのIT導入や設備投資(DX、自動化設備の導入など)	25件	14.0%
④ 既存事業におけるコスト削減の徹底(省エネ設備への更新、原材料・販管費の見直し)	40件	22.5%
⑤ 賃上げのための税制優遇(賃上げ促進税制)の活用	11件	6.2%
⑥ その他	1件	0.6%
	178件	100.0%

建築確認申請・工事届件数



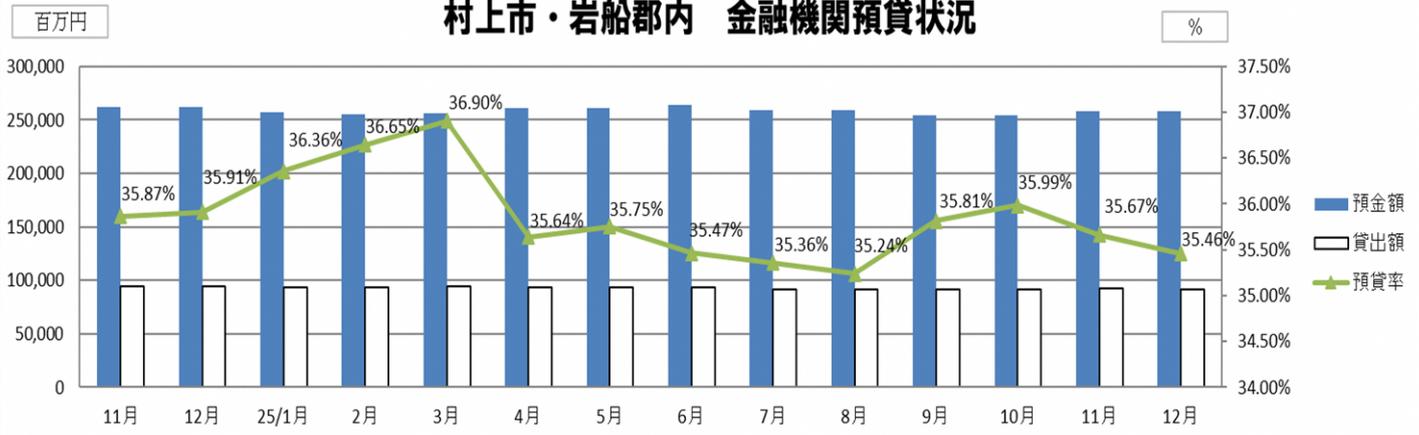
※本データは、新築・増築・改築の申請があった建築確認申請(民間受付含む)と工事届の合算となります。

村上職安管内 有効求人倍率(パートを含む全数)



※上記有効求人倍率は、季節調整値再計算により改訂した数値を記載しています。

村上市・岩船郡内 金融機関預貸状況



調査概要

調査時期	2026年1月上旬～中旬
調査対象	村上市内事業所200社 有効回答数:143社(回収率71.5%) [業種] 卸売・小売業62社、建設業41社、製造業30社、飲食・宿泊業21社、サービス業46社 [地区] 村上地区104社、荒川地区33社、神林地区21社、朝日地区19社、山北地区23社
実施機関	村上市地域経済振興課、村上商工会議所、荒川神林商工会、朝日商工会、山北商工会
分析機関	村上商工会議所
参考資料	全国中小企業動向調査結果(小企業編)／日本政策金融公庫 <2025.10-12実績・2026.1-3見通し>

DI値(景況判断指数)=[増加・好転などの回答割合]-[減少・悪化などの回答割合]

(※売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がり意味着)